

平成 30 年 1 月 22 日

1 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木県では好天が続き、昨年 12 月中旬以降、皆伐・間伐材とも入荷は順調である。大手製材工場のフル生産が続き、スギ柱物は品薄状態だが、平年を上回る原木在庫が県森連共販所(鹿沼、矢板、大田原)にあるため、価格は昨年 12 月中旬以降、弱保合で推移。スギ中目材の良材は強保合だが、並材は弱保合。ヒノキ柱物、土台は引き合い良く保合、中目材は弱保合で推移している。

群馬県では製材工場の原木需要が旺盛で原木価格は上昇していたが、流通量の増加に伴い、横ばい傾向に転じた。スギ、ヒノキとも 4.0m14~20cm の原木が依然少ない。製品市場や小売店からの引合は少なく、プレカット工場と公共工事関係が多い。スギの 3m105 角、4m90 角、4m105 角、ヒノキの 4m90 角、4m105 角の製品在庫が少ない。スギ、ヒノキ角類の価格上昇に伴い、羽柄材も多少値上がったが、力強さは見られない。

2. 米材

米加北西部では通常伐採が行われており、米国では緩慢ながら在庫積み上げが始まったが、カナダでは依然として材不足が深刻である。ウエアハウザー社の 1 月積み対日価格(推定)は前月比\$30 アップの\$1,040 で、6 カ月連続の上昇となり、尺上、尺下とも 20 年ぶりの\$1,000 台となった。産地製材品価格も高値推移で歯止めが掛からない状況にある。製材工場の製材意欲が旺盛なため、原木需給はタイトである。カナダ産製材品に対する相殺関税・反ダンピング関税の課税に関する最終税率は若干修正があり 20.23%に低下し、12/28 より課税が開始される。ランダムレングス紙の 15 種平均価格(1/5)は\$436/M で 12 月頭と同値。

11 月の原木入荷量は 157 千 m^3 と低調、1-11 月累計で 2,367 千 m^3 (前年同期比 9.0%減)、出荷量も 156 千 m^3 で低調、1-11 月累計では 2,414 千 m^3 (同 6.0%減)で出超。在庫量は前月に比べ 1 千 m^3 減の 203 千 m^3 となり、在庫率は 1 カ月を割ったまま。国内最大手の米材製材工場が昨年 9 月、11 月に続き、3 回目の値上げを表明。

12 月の東京木材埠頭の米材製材品入荷量は 27 千 m^3 (前月比 6.6%増)、出荷量は 30 千 m^3 (同 5.4%減)、在庫量は 45 千 m^3 (同 6.7%減)。米マツ製品の買い

は旺盛で在庫も少なくなっており、ますますタイトな状況にある。

3. 南洋材

サバでは本格的な雨季に突入し、2月の旧正月から3月まで出材は少ない。丸太在庫は非常に少ない。サラワクも同様、在庫は少ない。PNG、ソロモンは慢性的に天候不安定。中国が出材丸太を丸買いしており、価格は暴騰中。インドネシアも出材は低調。1月推定の原木入荷量は15千 m^3 、出荷は15千 m^3 で横ばい、在庫は今後も減少。製品入荷量は40千 m^3 と少ない。数量的に一番多いフリー板の市況が今ひとつ、平割は引き合いも少なく低位安定、鋼材用梱包材も変化なし。バンキライとクルインはインドの買い付けにより価格は高騰。

4. 北洋材

冬山伐採期に入り搬出は順調だが、アカマツ比率が例年より低い上、径も細く、日本向け適材が不足。輸入製品は価格、輸送コストとも高止まり。冬季燃料優先による貨車不足は解消されつつある。原木輸出価格はアカマツ、カラマツが品薄で強保合、現地挽き完成品は底打ち反転、アカマツ原板は供給足りず、\$380で強保合。現地挽き3cm×4cmの在庫は減り、価格は底打ち。3mタルキも多少動きが戻る。11月原木入荷量は5.4千 m^3 (前年比14.3%減)、出荷量11.1千 m^3 、在庫量は15.0千 m^3 の1.46カ月。製品入荷量は34.0千 m^3 (同6.3%減)、関東の製品在庫は減り、年末には30千 m^3 になったと推定され、底値感が広がりつつある。

5. 合板

国産材原木は需要旺盛なため、スギ、カラマとも不足気味で強含み。ロシア材の出材は順調だが、中国の買いが旺盛で港頭在庫は増えておらず、天候悪化で船が遅れており価格も強含み。米材は輸出向けの原木確保が困難で価格も相当強い。南洋材の出材は低調のままで、価格も高値張り付き。11月の国内合板生産量28.3万 m^3 のうち針葉樹合板は27.1万 m^3 と過去最高、出荷量は26.9万 m^3 と過去最高を記録した10月に次ぐ高水準となった。在庫量10.3万 m^3 のうち構造用合板は8.6万 m^3 と依然低水準が続いている。針葉樹合板は9mm、15mmの不足感が大きく、輸入合板では薄物、塗装合板、ラワン構造用9mmの不足感が続いている。国産針葉樹合板の1月販売価格は横ばい。大手プレカット工場を中心とした直需需要の衰えはさほど見られず、相変わらずメーカー主導の強気の展開が続いている。またトラック不足が顕著で納期遅れが発生しているため、早めの手配で在庫を確保する動きも出ている。10月の合板輸入量は27.9万 m^3 と予想外の大量輸入となった。産地インドネシアでは原木不足に陥っている工場とほぼ潤沢にある工場の二極に分かれている。マ

レーシアでは各工場とも原木状況は厳しく、手持ち契約残の解消にはまだ時間がかかる模様。輸入合板は相変わらず多くの不足アイテムがあり、また現地の高値情報を踏まえると、まだしばらくは強気の展開が続くだろう。

6. 構造用集成材

12、1月のラミナ入港は多く、原材料確保に問題はない。円安基調は止まらず、円貨ベースの原材料価格は上昇している。国内集成材メーカーはラミナ高騰により4月以降、RW梁桁を65,000~68,000円/m³にしないと採算が厳しい状況にある。国内メーカーの受注は多く、フル生産が続いており、在庫は少ない。RW梁桁の荷動きは良いが、WW柱・間柱は鈍い。メーカーはRW梁桁の受注残があり、1月も好調な販売を維持している。ラミナ高騰、ユーロ高でRW梁桁は全般値上げ。輸入集成材のWW管柱、間柱は港頭在庫が多く、入港は減少傾向、RW平角の荷動きは活発で全国的に品薄感がある。

7. 木材チップ

チップ原木の入荷は地区によってFITとの競合があり、相対的に減少。解体材入荷は例年並み。製紙用は国内針葉樹チップの使用量の増加、冬期・年末年始の入荷減、輸入チップの品薄と相まって増集荷傾向にある。燃料用では冬期は多量の燃料を使用するため、消費量は増加傾向。製紙用は針葉樹チップの在庫減少により年始年末の在庫確保に動いおり、針葉樹チップの価格修正の動きあり。燃料用は自然体の状況。製紙用の原料確保を進めているチップ工場では操業度が高いが、建廃系は工場毎でバラツキが多い。

8. 市売問屋

構造材は国産材、外材とも不足感が出てきている。造作材は少し荷動きが増えているが、値上げするほどの勢いはない。東北地方の積雪による出材減により製品入荷が減少しており、不足材が出てくるかも知れない。買い方の材木店の仕事は建材中心になっており、木材の使用が少なくなっている。

9. 小売

スギKD柱・小割・板割、ヒノキKD柱・土台は保合。外材はアカマツタルキ良材は保合、米ツガ角・平割とも品薄で強保合、SPFは強保合、WW間柱は保合。造作材ではスプルス、ピーラー平割保合、タモ平割強保合。集成材はWW柱・梁、RW梁・柱ともに保合。針葉樹合板は保合、型枠、塗装型枠は品薄で強保合。パーティクルボードの不足が続いており、先行発注で品物を確保している。新築木造の見積が多くなっている。

1月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	↗	↗	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	→	→	→
南洋材	丸太	↘	→	↘
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記の様に示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	↘	↘	↘

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	→
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	↗
			スギ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ間柱 (KD) 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×3.65m	→
			ヒノキ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
ヒノキ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→			
ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→			
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	↗
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ コースト	↗
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角 (KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↗
			米マツ桁角 (GR) Std&Btr S4S 4・1/8" 13'	↗
			米ヒバ土台角 (GR) Std&Btr 4・13/16" 13'	↗
米マツ平角 (KD) 特等 10.5×24.0×4m	↗			
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	↗
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
		メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→	
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	↗
東京・問屋店頭 渡し価格		同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→	
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ (KD) 30×40上級	→
			アカマツ (KD) 16×40上級	→
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	↗
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	↗
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→